

TOYO HIGH SCHOOL

ACCESS 主な駅から沼津駅までの所要時間

JR東海道線	三島駅 5分、熱海駅 17分、富士駅 18分、由比駅 32分、小田原駅 42分
JR御殿場線	御殿場駅 33分
JR伊東線	伊東駅 50分(熱海駅乗換)
伊豆箱根鉄道	修善寺駅 50分(三島駅乗換)
JR身延線	富士宮駅 42分(富士駅乗換)

桐陽高等学校
TOYO HIGH SCHOOL

〒410-0055 静岡県沼津市高島本町 8-52
TEL (055) 921-0350 FAX (055) 921-9844
E-mail koho@toyo-numazu.ac.jp

お問い合わせ、詳細は
ホームページから

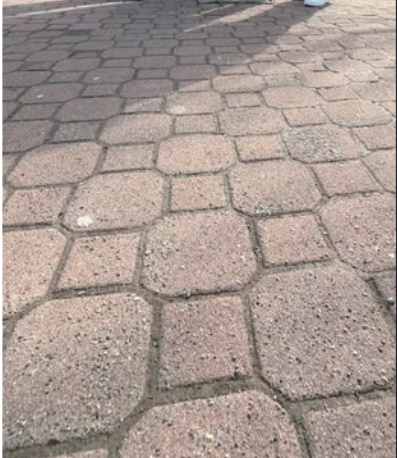
桐陽 検索



ACCESS MAP



- JR東海道線・JR御殿場線・沼津駅北口より 徒歩約12分
- 東名高速道路沼津インターより 車で約15分
- 国1バイパス江原公園交差点南下(リコー通り) 車で約3分



Touch the World, Seize the Future

なぜ今、 留学をするのか？

世界に通用するグローバルな人材が求められている現代。
英語力はもちろん、異文化を理解し、世界とコミュニケーション
をとるスキルはますます重要性を増しています。

これからの社会に必要な国際力を身につける、またとない
チャンスが高校留学です。将来の進路を決める高校時代に、海
外で生活し現地の高校生とともに勉強する。それはグローバル
人としての素養を身につけるだけでなく、人間としても大きく成
長する貴重な体験です。高校留学30年の歴史を誇る本校が、君
を応援します。

一般的に、留学への適応は10代半ばがスムーズといわれて
います。なぜなら大人にはない柔軟性と吸収力があり、新しい
環境への適応能力も高いからです。また高校生になれば、中
学生ではできない自己管理や判断ができるため、親元を離れ
た海外での生活にも対応できます。もちろん、卒業後の進路選
択の前に視野を大きく広げるといったメリットも見逃せません。

沿革

平成 3 年	国際進学コース設置
平成 3 年	国進 米国希望制サマーキャンプ開始
平成 4 年	留学進学コース設置
平成 5 年	留進 留学先 米国ロードアイランド州モーゼス・ブラウンスクールと姉妹校提携調印
平成 8 年	国進 豪州1ヵ月語学研修開始 研修先 マルチドー
平成10年	留進 留学先 米国オレゴン州・カナダブリティッシュコロンビア州を追加
平成11年	国進 豪州3ヵ月語学研修開始
平成14年	留進 カナダ留学先 アルバータ州に移行
平成15年	国進 語学研修先 豪州アデレードに移行／留進 米国留学先 オレゴン州に移行
平成16年	留進 米国留学先 ペンシルヴェニア州に移行
平成20年	国進 語学研修先 豪州メルボルンに移行
平成30年	エンパワーメントプログラム 導入
平成31年	留進 アカデミックスキル講座導入

信頼と実績30年のノウハウ！ 桐陽高校の留学コンセプト

世界に通用する 日本人を育てる

留学は目的ではなく、あくまでも手段です。グローバル化する世界において国家間における諸課題の解決や民間レベルの交流に際して、英語を駆使して相互理解を深め、互恵関係を築ける人材が必要です。日常生活にもグローバル化が及ぶに至り、今後は日本人の一人ひとりがそのような資質を高めていく必要性に迫られています。

一方で、グローバル人とは名ばかりの民族的アイデンティティを持たない人は、国際社会では尊敬されません。あくまでも日本人として、世界に伍する力を涵養するのが本校の留学です。また、留学中に遭遇する幾多の困難に立ち向かう経験により、社会のリーダーにふさわしい逞しさを兼ね備えた人材に成長することを願っています。

Point 01

留学と 大学受験の両立

留学で培ったグローバル人としての資質を活かすためには、大学へ進学し高い専門性を身につける必要があります。また、学歴社会の日本では、広くチャンスを掴むうえで大学進学は重要です。そのため卒業後は日本の難関大学への進学を目指します。

留学期間の長短は、受験準備の期間の長短と反比例の関係にあります。高い英語力を持ちながら、思うような進学を果たせない生徒がいるのはそのためです。

私たちは、これを打開するための様々な工夫を積み重ねてまいりました。留学で培った英語力を受験でしっかり活かせるよう、3年間でプログラムされています。

Point 02

留学を前提とした コース制

本校ではクラス全員が留学をするコース制だからこそ、そのための事前指導および事後指導が徹底して行える体制となっています。特に事前指導は、留学中の吸収力とトラブル防止に直結するので、とても重要です。また、共通の意識と経験をもつ仲間からなる集団で取り組むことが相互支援を生み、大きな相乗効果を発揮します。これは留学と受験の両立という困難な目標を達成するには極めて重要なファクターです。

Point 03

選び抜かれた 地域と学校

英語を話す国ならどこでもよいというわけではありません。外国人が標準的な日本語を学ぼうと思えば、関西圏よりも関東圏に留学するのがふさわしいのと同じです。治安の良し悪しは留学の成果以前の問題として考慮することは言うまでもありません。

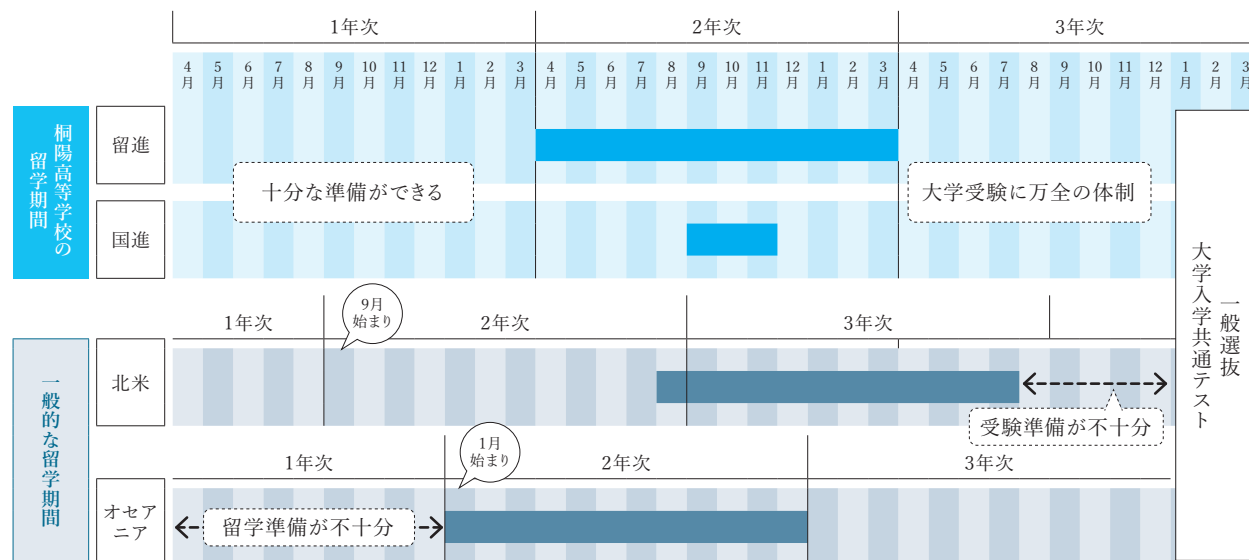
本校ではさらに、ホームステイは一家族に一人ずつを原則としているため、良質な学校とホストファミリーを多数確保できることも場所選びの重要な要件です。

Point 04

日本の学校制度に 合わせた留学期間

通常は受け入れ先の学期に合わせて留学することが多いのですが、それでは日本における学習進度や受験システムとのミスマッチが生じます。これが、留学と大学受験の両立を図るうえでの大きな障害の一つとなります。

本校では、日本の学校制度に合わせた独自の留学プログラムを構築することによって、無理なくスムーズに留学準備と受験準備が行えるタイミングと時間の確保を実現しています。



現地高校生の学年 北米は9月始まり、オセアニアは1月始まりです。

教育改革 & 大学入試改革

ある研究機関によると、AI技術の発展によって、2030年には日本の労働人口の約49%が技術的にAIで代替可能になると言われています。明治維新以来の社会の大転換期を迎えているという専門家もいます。

こうした新しい時代を生きるにふさわしい力を身につけるため、教育も変わりはじめました。これまで何度も取り沙汰されてきた知識偏重型の教育から、いよいよ本気で脱却を図ろうとしています。それに合わせて大学入試も改革が行われつつあり、「思考力」「判断力」「表現力」を問う入試形態への移行が進められています。長期の留学がこうした力を養う絶好の機会となることは識者の言を待つまでもありません。しかも、入試において最も変革が進んでいるのが英語です。これまでの、【読む】【聞く】に加えて【書く】【話す】までの4技能が高く評価されるようになりました。

私たち桐陽高校は、こうした社会の到来に備え、およそ30年前から日本人の高校生に適した留学プログラムを構築し、毎年多くの生徒を送り出してきました。そして卒業生の多くが社会の第一線で活躍しています。



各資格・検定試験とCEFRとの対照表（文部科学省平成30年3月）

CEFR	実用英語技能検定I級～3級	TOEFL (iBT)	IELTS
C2	各級CEFR算出範囲		9.0 – 8.5
C1	3299 2600	120 – 95	8.0 – 7.0
B2	2599 2300	94 – 72	6.5 – 5.5
B1	2299 1950	71 – 42	5.0 – 4.0
A2	1949 1700		
A1	1699 1400		

Diagram showing score ranges and CEFR levels:

- 2630 → I級
- 2304 → 準I級
- 1980 → 2級
- 1728 → 準2級
- 1456 → 3級

英検・TOEFL・IELTSが受験で使える大学（GMARCH／関関同立／早慶上智）

英検	TOEFL (iBT)	IELTS	一例
2級以上かつ1,980点以上	42点以上	4.5以上	学習院大学 国際社会学部
準1級以上	72点以上	5.5以上	明治大学 国際日本学部(英語4技能)
2,100点以上	50点以上	4.5以上	青山学院大学 総合文化政策学部
○	○	○	立教大学 全学部
準1級以上	42点以上	4.0以上	中央大学 文学部 英語文学文化専攻以外
準1級以上かつ2,500点以上	76点以上	6.0以上	法政大学 グローバル教養学部
2級以上かつ1,950点以上	42点以上	4.0以上	関西大学 文学部
準1級以上または2,300点以上	72点以上	5.5以上	関西学院大学 全学部
準1級	72点以上	6.0以上	同志社大学 法学部(自己推薦)
2級以上	61点以上	4.5以上	立命館大学 国際関係学部
○	○	○	早稲田大学 国際教養学部
○	○	○	上智大学

(2023年)

留学進学 コース

留学期間 1年

アメリカまたはカナダの高校で2年次の1年間ホームステイし、ネイティブなみの会話力を身につけます。実用英語技能検定は準1級合格、TOEFL iBTは72点突破が目標です。大学で学ぶレベルの英語力をすでに身につけて卒業するので、進学先で大きなアドバンテージとなります。



留学前<1年次>

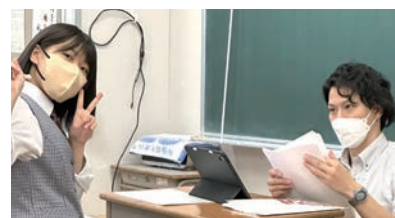
1年次に取り組むこと<年間スケジュール>

4 April	入学式／単語テストスタート／文法勉強スタート／桐陽塾スタート／留学報告会の見学／留学オリエンテーション	10 October	英検 2 回目／中間テスト／ハロウィンパーティー
5 May	中間テスト／英検 1 回目	11 November	留学オリエンテーション
6 June	大学見学／留学オリエンテーション／桐陽祭	12 December	期末テスト／Global Studies Program／TOEFL 1 回目／冬期講座
7 July	期末テスト／三者面談・留学面接／夏期講座	1 January	TOEFL 2 回目／ビザ申請／英検 3 回目
8 August	夏期講座／体験入学手伝い	2 February	TOEFL 3 回目
9 September	課題確認テスト	3 March	留学オリエンテーション／1、3 年生交流会

留学意識を高める様々な取り組み

TOEFL指導

TOEFLの指導が授業で行われます。答えの探し方やテクニックを普段の授業で扱っている文法や読解とリンクさせながら指導します。



Global Studies Program

海外の大学生や日本に留学中の大学生と共に、All Englishでディスカッションをしたり、課題をこなしたりします。



生徒の声

- 5日間の体験を通して、失敗が怖くなくなった。
- 挑戦することの大切さを学んだ。
- 英語学習に対するモチベーションが上がった。
- 聞くことと話すことに対する不安が払拭された。
- 勉強してきた英語がネイティブの先生に通じて自信になった。
- 海外の授業の雰囲気がわかり、厳しさと楽しさがわかった。

授業内容<英語>

1年次の目標 英検2級以上、TOEFL ITP 460点

文法

1学期に3年間分の文法を学ぶ。その後は問題演習を繰り返して文法力を確実にしていく。

資格対策(TOEFL&英検)

PBT、ITP、iBTのReadingの問題を毎授業解くことで、長文を読む力がついていく。2学期の終わり頃から3回ITPの受験をする。

英会話

週4時間、ネイティブの先生による英会話の授業で、“使える英語”の力を培うことができる。

留学後<3年次>

3年次の年間スケジュール

4 April	留学報告会／桐陽塾スタート	10 October	総合型選抜受験／大学入学共通テスト出願
5 May	中間テスト／桐陽祭 文化の部 留学展示作成	11 November	学校推薦型選抜出願開始／学校推薦型選抜受験
6 June	桐陽祭 文化の部 有志展示 留学展示発表／第1回 実用英語技能検定試験 目標：準1級に合格	12 December	期末テスト／学校推薦型選抜 結果発表／冬期進学講座
7 July	期末テスト／三者面談／夏期進学講座	1 January	大学入学共通テスト受験／私大一般選抜 出願開始／卒業認定試験
8 August	夏期講座	2 February	自由登校／国公立大 出願開始／私大一般選抜 受験／国公立大 前期日程 受験
9 September	ベネッセ共通テスト模試／校内推薦委員会／総合型選抜(旧AO入試)出願開始	3 March	卒業式／国公立大 後期日程 受験

取り組み

〔1〕
一般選抜入試に向けて

3教科5科目に特化したカリキュラムとそれを補う桐陽塾、夏期・冬期進学講座 カリキュラム 週35時間

【国 語】 古典 5、現代文 4 計 週9時間

【世界史】 週6時間

【英 語】 コミュ英 5、英語演習 4、TOEFL演習 3、英会話実践 3 計 週15時間

【桐陽塾】 共通テスト／英検

【夏期・冬期進学講座】 前期、中期、後期 計 15日間

〔2〕
二学期の入試に向けて

受験資格を獲得するために、民間の英語4技能試験(TOEFL iBT, 実用英語技能検定試験準1級を受験)

【目標】 英検準1級、TOEFL iBT 72点、CEFR B2レベル相当
(上智大学外国語学部英語学科の学校推薦型選抜の出願基準)

留学の成果 実用英語技能検定取得状況

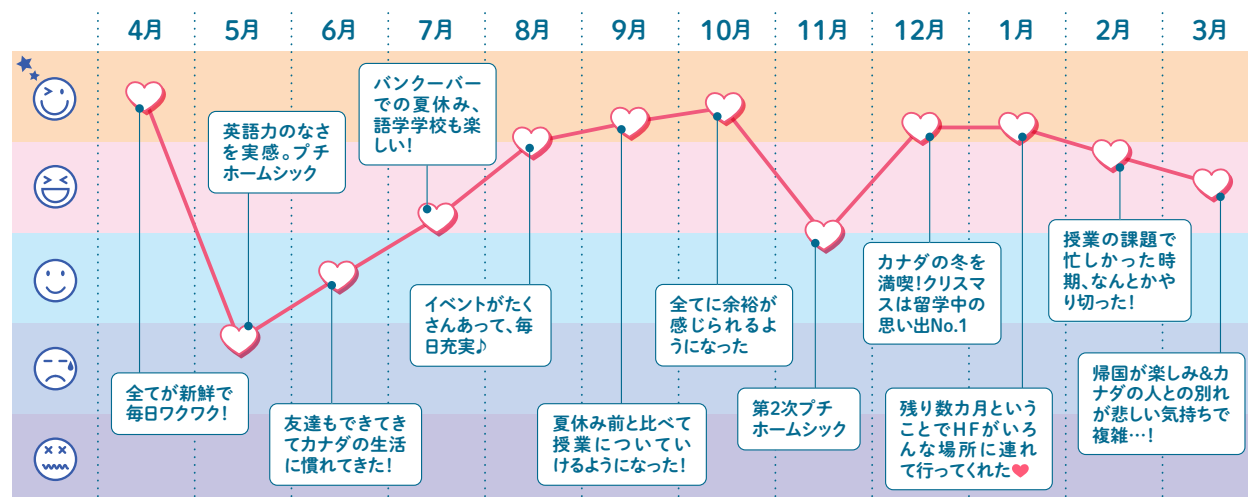
卒業年度	2級取得率	準1級取得率
令和2年度	100%	80%
令和3年度	100%	62%
令和4年度	100%	83%

主な進学先

【国公立大学】
東京外国語大学／静岡大学／信州大学／静岡県立大学／高知大学／横浜市立大学／高崎経済大学

【私立大学】
慶應義塾大学／早稲田大学／上智大学／国際基督教大学／中央大学／明治大学／青山学院大学／法政大学／立教大学／津田塾大学／同志社大学／獨協大学／学習院大学／関西外国語大学／南山大学／立命館大学／東京理科大学 ほか

いざ、留学へ ★留学中の心理グラフ(Mさんの場合)



カナダ ブリティッシュコロンビア州 ナナイモ



- バンクーバー島東海岸にある島内第2の都市
- フェリー発着の港もあり、バンクーバー島の玄関口
- 年間を通して過ごしやすい温和な気候、活気ある港町
- Nanaimoは「人の出会う場所」を意味しており、町の人々もフレンドリー
- 課外アクティビティも充実



授 業

◆演劇
◆心理学
◆フード
◆英語
◆電子工学
◆数学
◆化学
◆英語
◆ダンス
◆ヨガ
◆料理
◆体育など

夏休みの体験

◆Calgary Stampede
◆サマースクール
◆キャンプ
◆ハイキング
◆プール
◆BBQなど

独自のイベント

◆Easter
◆Canada DAY
◆Stampede Breakfast
◆Thanksgiving
◆Boxing Day

TOEFLに特化した内容で英語力が凄く上がります。

たまごにペイントしたり、家中に隠されたたまごカプセルを探して、その中のお菓子をゲットするイベントです。

カナダのお祭りで、沢山の屋台が出て、火花なども打ち上がります。

卒業生メッセージ

森川 夕貴

留学進学コース卒業

テレビ朝日アナウンサー

みなさんは高校3年間という限られた時間をどのように過ごしたいでしょうか?どう過ごすにせよその3年間はこの先の人生を決めるといっても過言ではない濃密な時間になっていくでしょう。勉強の結果がついてこなくて悔し泣きながら帰ったこと、仲間と笑すぎて涙したこと、留学先で寂しくて泣き喚いたこと、先生方にそっと支えられて嬉しくて泣いたこと。そういったことを積み上げて手にした未来への切符と英語力。みなさんもきっと3年後には未来につながる何かを手にして卒業していることかと思います。頑張ってください!

カナダで驚いたこと

食 事

- 朝ごはんが軽い。
- クラッカーとフルーツだけなど軽く済ませる時もある。

性 格

- 他文化に興味がある。
- 挨拶でハグは当たり前。
- 子供や恋人などへの愛情表現が日本より大きい。

生 活

- 家の高さが低いので空や景色が凄く綺麗。
- 毎週教会に行く。

学校生活

- 先生達がとてもフレンドリー。
- 先生とは呼ばずに、Ms.Mr.で呼ぶ。

留進・カナダあるある

アットホームな雰囲気

ファストフードが多い

先生との距離が近い

すべてのものが大きい

みんな英語が大好き

知らない世界を知り、自分の小ささに気づくが、日本に戻ると大きく感じる

留学した生徒の声

留学してよかった点や成長した点、どういう風に変化したかを教えてください。

様々なものごとに対する考え方や価値観が変わりました。まず生活に関しては、今まで日本で当たり前にしてもらっていたことが当たり前ではないということに気づいた点です。カナダでは同い年の子どもたちはみんな自立しており、自分のことは自分でやっていました。また、家族という存在に親しい相手にでもしてもらったことに対してThank youといっているのは素敵なことだし、自分自身も感謝の気持ちは常に忘れてはいけないということに改めて気づかされました。学校生活では、積極性を身に付けました。通常の日本の授業とは異なり、意見の共有が多く求められるカナダの授業では最初は周囲の生徒の勢いに圧倒され何も発言できなかったこともありましたが、桐陽高校で積んだトレーニングや周囲からもらうアドバイスをもちに徐々に自分をアピールすることができるようになりました。直に体験することができたからこそ、今自分が成長を実感できていると思います。

留学して感じた英語力の伸びについて教えてください。

TOEFLや英検の取得により、自分の英語力がきちんと伸びているんだということが実感できました。スピーキングやリスニングは時間が経つにつれて、徐々に良くなっていくことが日常生活で実感できましたが、学力はテストでしかわかりません。普段の授業や、夏のサマースクールにおける特別指導、帰国後の対策授業を受けることにより、今までの自分では考えられないようなスコアの取得ができました。クラス皆が高いレベルなので自分が特別英語ができるという感覚は最初ありませんでしたが、外の友達などと話をしていると驚かれ、自分の英語力に自信を持つことができました。

留学中に一番苦労したこと、その問題をどう解決したか教えてください。

最初、伝えたいことを伝えられなかったことです。現地での最初の1か月は、なかなか聞き取れないし、もちろんレスポンスも上手にできず、自信を失いました。言いたいことがあるのに。反応して会話に混ざりたいのに。こんな気持ちが常に自分を苦しめました。それでも日本での準備を信じ、あきらめずに失敗することを恐れず、トライを続けました。日本で話にも聞いてたように、慣れるには時間がかかるのが当たり前だが、日本での準備が慣れるのにかかる期間を変えるというのが間違いないと思ったのが3か月目でした。ミスをするにいい意味で慣れ始めて、堂々と話に混ざっているようになりました。毎日が必死だったため、その時には感じていませんでしたが、今振り返るとそう思います。挑戦と失敗を恐れずに、そして自分自身を信じる。これが大切だと自信をもって言えます。

TEFLプログラム

TEFLとはTeaching English as a Foreign Languageの略です。英語圏以外の国で英語4技能、第二言語習得理論などを教える学問もしくは資格となります。大学入試改革を通じて、英語は受験教科として4技能が求められる入試が多くなっています。特にスピーキングにおいては不安を感じる生徒、保護者の方も多いでしょう。そういったときに「留学」が思い浮かぶのではないのでしょうか。しかし「留学に行けば英語力が伸びる、英語が使えるようになる」、これは大きな間違いです。「適切な準備」をし、留学に臨むことによって桐陽高校留学進学コースは、「結果」を出します。「適切な準備」とは、英語学習はもちろんですが、それ以外にも留学に対する覚悟を決めること、また学び方を知ることなど、様々な桐陽methodがあります。今年度より、今までの取り組みに加え正式に「留学進学TEFL Program」と名付け、講座を実施しています。この留学進学TEFL Programでは第二言語習得者として英語の学習方法、言語を通じた文化背景への理解や4技能取得に取り組んでいきます。この講座を通して留学準備、またその取り組みの一部である外部試験の実用英語技能検定やTOEFLを受験し、高いスコアを目指します。授業はQualifi Level 5 Diploma in TEFL[※]を持った講師によって行われます。

※国際資格：英国政府資格単位枠組みレベル5(Ofqual)／米国政府団体承認(DEAC)

留学進学コース1年生 留学前TOEFL ITP／実用英語技能検定 実績

2022年度

TOEFL ITPクラス平均
460
(CEFL B1レベル)

実用英語技能検定
2級取得率
91%

2021年度

TOEFL ITPクラス平均
471
(CEFL B1レベル)

実用英語技能検定
2級取得率
100%



おかえり！カナダ留学

2022年4月出発 ▶ 2023年3月帰国

令和4年度実績

- ✓ クラスの80%以上が英検準1級に合格！
- ✓ 早稲田・上智・GMARCH・関関同立大学合格者多数

令和3年度卒業生

62%



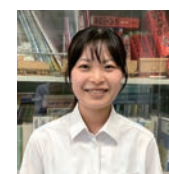
令和4年度卒業生

83%

21point UP!



帰国後の生徒の声



杉山 心菜

〈留学先〉Nanaimo District Secondary School

3年ぶりに1年間の留学が実現し、私たちは期待とともに出発することができました。多国籍国家であるカナダでは、世界中から来た多くの人々と交流を通し、多様性や異文化に対する理解がより深まったと感じました。この留学は1年次の充実した授業内容、また先生方の手厚いサポートがあったからこそ成功させることができたものだと思います。私はこの留学経験を経て、将来の目標を見つけることができました。今後も学んだことを活かし、挑戦し続けていきたいと思っています。



日吉 理莉

〈留学先〉Ladysmith Secondary School

この1年間の留学は私にとってとても重要な時間でした。留学前は、充実した環境の中での英語学習への期待とともに不安も多くありました。しかし1年次の準備や仲間たちと覚悟を決めることで「行って良かった」と感じられるたくさんの経験をすることができました。多文化を学ぶことはもちろん、自分の国を客観的に見ることで、国内にいたときには感じられなかった日本の良さも感じるようになりました。この経験を活かしてこれからの受験に挑んでいきます。

国際進学 コース

留学期間 約3ヵ月*

2年次にオーストラリアで約3ヵ月間ホームステイをしながら現地の高校に通学します。生きた英語力や国際感覚、人間力を身につけたうえで、しっかりとした受験準備によって、難関私立大学(文系・理系)合格を目指します。また、実用英語技能検定は準1級を、日本漢字能力検定は2級を目指します。

*留学期間は最低でも10週間以上を確保しています。

留学前〈2年次の夏休みまで〉

留学出発までの取り組み

国際進学コースでは、留学出発までの1年と約5ヵ月間で、3ヵ月のターム留学に耐えうる英語力を身につけると共に、様々なコース独自の研修等を実施して現地での生活に適応していける人間力を養っていきます。また、日本の伝統文化にも触れ、理解を深める取り組みを行っています。

英語力強化

●英検2級以上の取得

●週3時間の英会話授業

留学資質の向上

●規則正しい生活習慣

●学習習慣の構築

●コース行事の実施



留学に出発

コース独自の研修・行事

- テーブルマナー講座
- 浴衣着付け教室
- 百人一首大会
- 祭り寿司
- 有名大学見学
- Global Studies Program など



1年次～2年次の年間スケジュール

1年次

4 April	入学式 / 朝学習単語テストスタート
5 May	
6 June	第1回英検 / 桐陽祭 / 総合的な探究の時間(大学見学)
7 July	夏期進学講座 / ビブリオバトル
8 August	夏期進学講座 / ビブリオバトル
9 September	芸術鑑賞 / 祭り寿司教室
10 October	第2回英検
11 November	遠足
12 December	Global Studies Program / 冬期進学講座
1 January	第3回英検
2 February	マラソン大会 / 百人一首大会
3 March	第1回留学ガイダンス / 春期進学講座

2年次

4 April	第2回留学ガイダンス
5 May	事前研修(英文願書作成)
6 June	第1回英検 / 桐陽祭 / 総合的な探究の時間(大学見学)
7 July	夏期進学講座 / 浴衣着付け教室 / 留学オリエンテーション
8 August	夏期進学講座 / テーブルマナー講座 / 留学直前ガイダンス
9 September	出発
10 October	オーストラリア留学
11 November	帰国 / 帰国後オリエンテーション
12 December	冬期進学講座 / 留学報告会
1 January	第3回英検
2 February	マラソン大会 / 百人一首大会
3 March	春期進学講座



留学後〈2年次の3学期から〉

留学後の取り組み

留学報告会(12月)

留学前に、個人と学校ごとに研修テーマを決め、帰国後にそれをもとに英語で発表します。その発表を聞いた在校生からは、「堂々と英語で発表できる先輩たちのようになりたい。」保護者からは、「子どもたちの英語力に驚きました。充実した留学を送ってきたことが分かり、良かったです。」という感想をいただきます。



英検対策

大学入試で英検をはじめ4技能を測る試験がますます重要になっています。放課後の桐陽塾、授業の一部を使って帰国後から英検対策を行っています。まずは、全員が2級を取得し、準1級の取得を目指します。併せて、級の取得だけでなく、CSEスコアのアップを目指します。



取り組み

34時間の授業	例	〈文系〉英語13時間／国語11時間／歴史6時間＋LHR、体育 〈理系〉英語13時間／数学6時間／理科8時間／国語3時間＋LHR、体育
桐陽塾	例	英語週3時間＋国語(古文・漢文)2時間＋歴史1時間等
朝学習	例	単語テストと速読やリスニングを行っています。

生徒の声

- 帰国後も丁寧な指導のお陰で受験英語にもすぐに慣れ、点数を取れるようになりました。
- 桐陽塾では、大学入学共通テストの対策を受けています。変化の著しい大学入試に対して先生方はわかりやすく指導してくださいます。
- 朝学習で8:00から単語テストを行い、語彙の定着を徹底しています。最初は辛かったこともありましたが、3年次になって積み重ねた効果がテストの結果に表れていることに気づき、モチベーションが上がりました！

英検取得率

卒業年度	2級取得率	準1級取得者数
令和2年度	100%	5人
令和3年度	95%	1人
令和4年度	100%	6人

令和4年度の国際進学コース3年生は2年次に全員英検2級取得！英検準1級は6人！

主な進学先

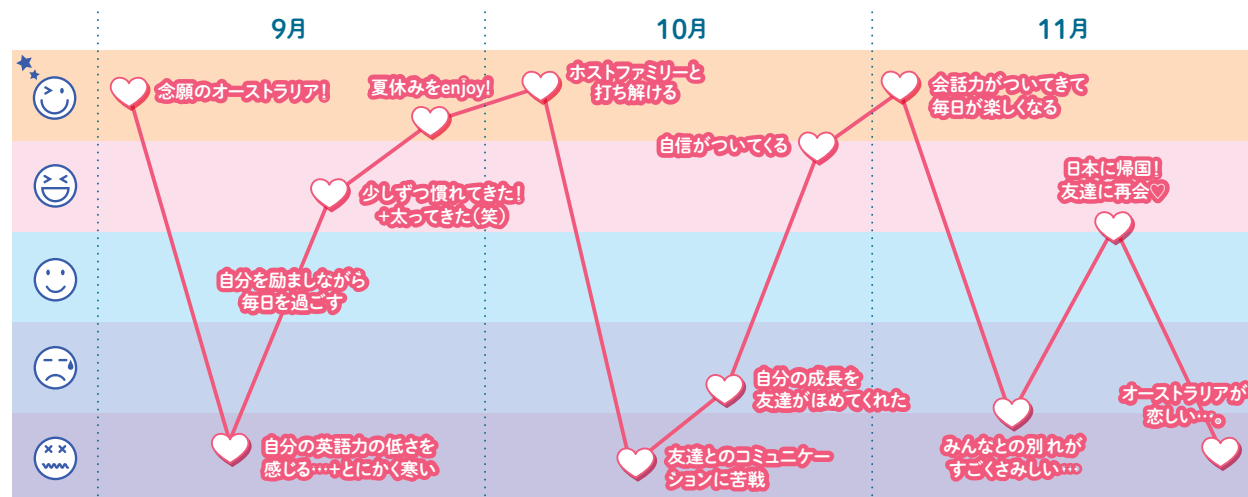
【国公立大学】

静岡大学／静岡県立大学／都留文科大学／国際教養大学／滋賀大学／釧路公立大学

【私立大学】

上智大学／立教大学／明治大学／中央大学／青山学院大学／法政大学／津田塾大学／立命館大学／関西大学／同志社大学／獨協大学／明治学院大学／東京女子大学／関西外国語大学／成城大学／京都外国語大学／南山大学／日本大学／東洋大学／駒澤大学／専修大学 ほか

いざ、留学へ ★留学中の心理グラフ(Sさんの場合)



留学中のとある生徒の1日の過ごし方

6:30	起床、朝食・昼食を作る	16:00	帰宅
7:20	家を出て、バス停に向かう	16:00~17:00	夕食準備
8:40	学校着	17:00~18:00	夕食
9:10~10:50	1限~2限	19:00~21:00	ホストファミリーと一緒に勉強、ボードゲームやバドミントン、アイスを食べながら映画鑑賞など。
10:50~11:15	休み時間	23:00	就寝
11:15~12:55	3限~4限		
12:55~13:45	昼食		
13:45~15:25	5限~6限		
15:25~	HR		

国進・オーストラリアあるある

- ベジマイトは日本で言う納豆! みんな大好き!
- オーストラリアは車の免許を16歳から取れる!
- オーストラリア人はコーヒーをよく飲む!
- マクドナルドをマッカズと呼ぶ。
- カンガルーを食べることができるよ!



オーストラリア メルボルン



- 他民族都市
- 世界一住みやすい都市に選ばれたことがある
- 町並みが美しい
- 湿度が日本と比べると非常に低いため、気温のわりには過ごしやすく感じる
- カフェがたくさんある
- 世界的に有名な建物や企業がたくさんある
- 各学校に1人専属のコーディネーターがつく
- 週1回の専属コーディネーターによる授業がある
- 選択制の授業もある

留学中イベント(9月~11月)

Party	日本では経験できなかった学校でのパーティーに参加しました
Color Run	学校のイベントでペイントをしながら走ってきました!
Football	オーストラリア人は皆、Australian footballの大ファンです
BBQ	オーストラリアの家庭では、週に1度~自宅BBQを行います
Excursion	Gold Coastは絶景でした 学校の遠足でコーディネーターたちが連れて行ってくれました
School event (私服Day)	学校のイベントで、好きな服を着て行ける日がありました 私たちは浴衣を着て、日本文化の紹介を行いました

卒業生メッセージ



小倉 彩瑛

国際進学コース卒業

テレビ静岡アナウンサー

テレビ静岡アナウンサーの小倉彩瑛です。県

内出身として、夕方ワイド番組「ただいま!テレビ」や「スポーツ番組」を主に担当しています。私は、高校生活で学んだことが今に繋がっていることを日々実感しています。留学では言葉が通じない悔しさを味わいました。そこでどうしたら伝わるかを考え、勇気を出して実践した経験こそ、今、伝える力や聞く力に活かされています。3年間で学んだことはなにもひとつ無駄ではありません。ぜひ色々なことに挑戦してみてください。自分の財産となり将来に結びつきます。みなさんの第一歩を応援しています!

オーストラリアで驚いたこと

オープンマインド

- カフェとかスーパーに行ったときに知らない人同士で食品のことなどを話し合ったり、店員さんも私やホストマザーに話しかけたりしてくれた。みんなが友達みたいに見えた。
- 自由さ、気楽さ、社交性など。やはり根本的にふるまい方が違うのだと実感した。自由度が高い分、自己決定の機会があるので、主体性が必要になる。
- 日本人よりも色々なことに理解がある。視野が広い。自分の考えを押しつけない。

生活

- シャワーの時間はなるべく短く...水を大切にしている。
- ゴミは家の外に大きなゴミ箱があり、ゴミが溜まったらそこに捨てる。
- 箸はあまり使わない。少なくとも私のホストファミリーはまったく箸を使わない。

気候

- 紫外線が強い...40度近い日もあった。

学校生活

- 日本では静かに授業を受けるのが普通だけど、オーストラリアはみんなが自由なタイミングで発言(質問等)している。
- 授業中では間違いを恐れず発表することができる。
- 先輩・後輩の風習がない。(みんな平等)
- 部活がない。学校が終わると即帰宅。休日に外部のクラブ活動を行っている子もいる。
- 掃除がない。業者さんがやるから、生徒はやらない。日本では「掃除するよ」と言ったらびっくりされた。
- おやつは果物、野菜が多い。りんごをまるごと1個食べたり、きゅうり等も...。スナック菓子より多い。

留学した生徒の声

留学して良かった点や、成長した点、どういう風に变化したか教えてください。

留学中に様々な人と話すことで、日に自分の英語力が向上していくのを感じた。その結果、自分の英語力に自信を持つことができ、留学前よりも積極的に話そうという意識が芽生え、かつ誰とも愛想よく接することができるようになった。やはり自分の知らない世界に身を置くと、初めは当然恐怖を感じたりすることはあるけれど、その世界に慣れた先では今までとは違う視点で物事を観察、見極めができるようになる。自分次第でいくらでも自分を変えられることを知った。

留学して変化した価値観・英語力の伸びについて教えてください。

留学の初めは英語力に自信がなく、カフェで注文するだけでも緊張したけれど、通じた時は嬉しく、だんだんと慣れてくると初対面の店員さんとも会話ができるようになり、英語で話すことが楽しくなった。ホストファミリーと映画を観に行った時も、最初は全く理解できなかったけれど、英語力がついて最後には内容をちゃんと理解して楽しむことができるようになった。自分の英語力の向上を実感できることが本当に嬉しかった。

留学中に一番苦労したこと、その問題をどう解決したか教えてください。

一番苦労したことはホストファミリーとの関係の築き方。初対面ということもあって、日本の家族のように接することはできず、難しさを感じた。しかし、時間の経過とともに自分からファミリーに話しかける頻度を増やしたことで、次第に接し方も柔らかくなっていった。やはり自分から話しかけようと積極的に行動をする、またその意識がないと何も始まらない。そういうことも学び、帰国後は日本でも積極的に行動できるようになった。

桐陽の国際進学コースなら将来の視野が広がる！

理系でも留学！理系こそ留学！
国際化が進む技術と産業



看護・医療技術系
食品栄養系などを目指す！

理系 × 留学

会話力向上だけが留学じゃない！
次世代が求める多様性と協働



国際学系・言語学・その他
全ての文系分野を目指す！

文系 × 留学



おかえり！オーストラリア留学

2022年9月出発 ▶ 2022年11月帰国



令和4年度実績

✓ 実用英語技能検定

2級取得率

100%

準1級取得者数

6名

帰国後の生徒の声



中田 雄大

〈留学先〉St Francis Xavier College

コロナ禍の影響で留学に行けるか心配ではあったけれど、なんとか無事留学することができ、安心しました。現地の学校では、できるだけ多くの人と関わりを持ち、英語力を向上させ、また、たくさんの国の文化や多種多様な人々と触れ合うことで異文化理解も深めることができました。自分の視野をより一層広げられる貴重な経験ができ、本当によかったです。



藤田 光来

〈留学先〉Emmanuel College Warnambool

留学先での生活は日本と全く異なるので大変なこともありましたが、楽しく充実した毎日でした。現地の学校以外にも、地域のイベントに参加したり、バレーボールのクラブチームに参加したりして行動の幅を増やしたことで、様々な人種・年代の方たちと交流することができました。その中で新たな発見も生まれ、日本の高校生活では得られない経験ができました。

安心と安全を追究したサポート体制

プログラムの企画・監修をしているJFIE(日本国際交流振興会)は、高校留学における30年のノウハウを活かし、厳選した安心でクオリティの高い現地ホストスクールを選定しています。

安全な環境のもと、研修目的を叶えるために選び抜いた国や現地高校に生徒を送ります。

国内のサポート体制(日本)



海外のサポート体制(留学先)

各国政府から認証を得た現地の受け入れ団体が、ホストファミリー、留学先校の選定または選定サポートを行い、現地でのオリエンテーション、問題解決、カウンセリング等を担当します。留学先校には専任のコーディネーター／カウンセラーが常駐します。彼らが本人、ホストファミリー、留学先校に定期的に連絡を入れ、その結果を、現地団体本部を通してJFIEに報告するなど、留学先で受け入れ団体あるいはJFIEの支援を行います。JFIEの留学プログラムは、現地受け入れ団体との緊密な提携の下に運営されています。



ホストファミリーへの事前指導も行っています

ホストファミリーは、異文化交流に関心を持ち、その意義を理解しているかどうかなど多くの規準をクリアした家族が選ばれます。また事前に「留学生受入ハンドブック」を通して、留学生受入に対する具体的なアドバイスも行っています。

JFIE 特定非営利活動法人 日本国際交流振興会

留学プログラムの企画・監修・運営

国際教育・相互文化交流に関する研究とその機会を提供し、21世紀を担うグローバルな人材育成に寄与することを目的に1992年に設立した非営利団体(NPO)です。日本から海外への交換・私費の中長期の留学機会を年間平均550名の生徒に提供しており、事前合宿研修からオリエンテーションなど出発までの準備、留学中のカウンセリングや帰国後の研修などのサポートを行っています。海外留学生の受け入れ(年間平均約50名)も行っており、日本のホストスクールやファミリーの紹介、留学中のカウンセリングなどのサポートを行い、国際理解の推進に寄与することに重きを置いています。JFIEは、「共に生きる」という視点を持ち、自ら考え、能動的に地域社会に貢献する人材の育成を目指しています。

ISA 株式会社 アイエスエイ

旅行手配・取扱い窓口

「グローバルな学習体験を通して、すべての子どもの未来を拓きます」を理念に年間、小学校から高等学校まで、全国1,000校に海外研修、中長期の留学、日本国内での英語研修などの教育旅行の手配を専門に行う企業です。海外研修においては、英語圏5ヵ国(アメリカ、カナダ、オーストラリア、シンガポール)に現地団体を持っており、学校ごとのニーズや適性に合わせた独自のプログラムの提供を実現しています。1970年の創立以来、全国に10つの拠点を構え、国内・海外研修に60万人以上の方にご参加をいただき、年齢や英語への関心の段階に応じたライフステージラーニングの総合提案をしてまいりました。近年では、海外大学進学サポートをスタートさせ、世界レベルでトップの大学への進学の手配も行っています。多くの若者がグローバル社会で活躍するためのサポートを目指しています。

Q1 コース変更はできますか？

他コースから留学進学コースへの転入はできません。国際進学コースへは、意欲・能力・目的などを総合的に判断し、適切と認められれば、2年進級時に限り他コースからの転入を認めています。留学進学コース・国際進学コースから英数進学コース、特別進学コース理系を除く他コースへの転出は、転入と同様の条件で認めています。

Q2 病気になったり事故にあったりしたらどうなるのでしょうか？

ホストファミリー、さらには現地受け入れ団体のコーディネーターが対応してくれます。海外での医療費は高額ですので、必ず海外旅行傷害保険に加入しましょう。盗難にあった時や損害賠償を請求された時も保険でカバーされます。原則歯科治療や既往症には適用されませんので注意しましょう。

Q3 感染症のパンデミックなどにより留学ができなくなってしまった場合はどうなりますか？

まずは留学ができる可能性を最大限に模索します。それでも実現しない場合には、通常の高校2年次としての科目を履修しなければなりません。それに加えて代替プログラムを用意しています。日本にいながらにして少しでも留学に匹敵する力をつけられるようになっています。特に進学時に有利となる実用英語技能検定準1級レベルの英語力をしっかりと身につけ、進路実現は例年と遜色のない取り組みを行っていきます。

Q4 年間どれくらいの費用がかかりますか？

留学先国、期間によって異なります。目安としては、現地のプログラム費用※は1年間で約450万円前後、3ヵ月間で150万円前後です。このほかに渡航手続き関連費用やお小遣い等が別途必要になります。詳しくは直接お問い合わせください。

※ 授業料、滞在費、現地サポート費用(為替の変動により変わります。)

Q5 留学進学コース以外で、1年間の留学はできますか？

留学進学コース以外でも、その適性と能力が認められれば、すべてのコースで1年間の個人留学を許可します。帰国後の審査によっては留学中の単位を認定し、3年間で卒業が可能です。ただし、本校の正規の留学ではありませんので、正規と同様のサポートはできません。よく検討し、慎重に判断する必要があります。例年、国際進学コースから数名の生徒が1年間留学しています。

Q6 授業についていけるか不安なのですが、大丈夫でしょうか？

留学には何といても事前準備が大切です。出発まで、少しでも多く英語に触れ、ふだんから英語で考える習慣をつけましょう。留学先での正規の授業の橋渡しとして、ESLコース(留学生のための英語授業)やそれに相当する授業が用意されているので、そこで英語に慣れることができます。また、留学中困った時は、留学先の学校のアドバイザーに積極的に相談してください。最初は誰でも不安なものです。

Q7 中学生のうちに何か準備できることはありますか？

留学進学コースも国際進学コースも、高校3年間で習得する文法事項を全て1年次のうちに学習します。ですから、中学校での学習事項はできるだけ身につけておきましょう。実用英語技能検定準2級程度のレベルにあることが望ましいです。また、スポーツや楽器など何か特技があると、留学中に人間関係を築く良いきっかけになります。無理に取り組む必要はありませんが、趣味や特技があればそれを大事にしましょう。なお、心身ともに健康・健全であることが海外生活では非常に重要です。是非、心と体を鍛えておきましょう。

Q8 何か留学のための条件はありますか？

心身ともに健康であることが、留学の一番大切な条件となります。ですから、心配な既往症をお持ちの場合は、ぜひご相談ください。つぎに、留学先の国の査証を取得し、入国の条件を満たす必要があります。例えば、コロナ禍の中で、新型コロナウイルスのワクチン接種2回が必須というものもその条件です。国ごとに、また査証の種類により条件は異なりますし、また、変更されることもありますので、気になることがあれば、ご相談ください。最後に、出発までに留学に耐えうる英語力を身につける覚悟と、留学を卒業後の進路実現のための大切な手段であると考えて意識を持つことが留学の条件といえるでしょう。